

手鏡付き手作りリース

手鏡に
花飾りをして作る
アレンジリースです。



握り手をたたむと
スタンドミラーに
なります。



クリスマスリースって どんな意味があるの？

クリスマスリースといえば、リースを玄関に飾るというのは、日本でもすっかり定着しているクリスマスの習慣です。最近ではリースを手作りしたり、アレンジしたりするのがクリスマス前のイベントともなっています。

クリスマスリースの由来は、宗教的な意味合いの他、葉に殺菌作用と抗菌作用のある常緑樹を玄関に飾り、魔除けにしたというものと、豊作を願って玄関を飾る、日本で言えばしめ縄のような役割があったというものが有力です。



〈使用する道具〉

- ハサミ
- ピタガン(接着用)

〈材料〉

- リースの土台となる手鏡
- 造花

【作り方】

1 造花の花・葉を外します



造花の花・葉を外して、材料の準備をします。花の付け根がじゃまになるのでハサミで切り取ります。

2 飾り付けをします



手鏡に飾り付けます。大きな飾りの位置を初めに決めてしまうことがポイント。対角線で交互に付けていくとバランスがとれます。花の間を葉や小さな花で埋めていきます。

3 完成



表面に飾り付けた花の接着面が見えないように裏面も飾りましょう。

他の作品例です。色々とアレンジをして素敵なリースを作ってください。

